

読者の皆様、新年明けましておめでとうございます。
本年もより役立つ情報を配信していきたいと思っておりますので、
引き続きご愛読いただければ幸いです。
どうぞ、よろしく願いいたします。

★—INDEX—★

- [1] 【三役コラム】 今年もよろしく願いします
- [2] 【航空局】 小型航空機等に係る安全推進委員会より
- [3] 【航空局】 AIView のトライアル開始について
- [4] 【航空局】 航空局から小型機運航者の皆様へ（第 27 号：令和 2 年 1 月）
- [5] 【予定】 セミナー・イベント
- [6] 【新発売】 JAPA SHOP よりご案内
- [7] 【ご案内】 公益社団法人 日本航空機操縦士協会 ご入会について

★—————

- [1] 【三役コラム】 今年もよろしく願いします
会長 井上 伸一

★—————

メルマガの読者の皆様、新年あけましておめでとうございます。いつもご愛読ありがとうございます。

年末年始も休みなくフライトに、また航空業務に就き安全運航に努力されている皆様に心より感謝申し上げます。

運輸安全委員会のHPによりますと、2019年の国内の航空事故は残念ながらウルトラライトプレーンの事故で1名お亡くなりになっていますが、統計が出ている1974年以降では2013年と並び発生件数が最低となっています。航空業界関係者の皆様のご努力に敬意をするとともに、事故の低減に向けて当協会も引き続き役割を果たしていきたいと思っております。

さて、操縦士協会では未来の航空の担い手を発掘するために各種の裾野拡大事業に取り

組んでいます。航空業界全体の取り組みとしては、航空機操縦士養成連絡協議会（航空会社、養成機関、メーカー、関係法人など 43 組織及び国土交通省で構成）の事務局を務め SKYWORKS の運営や女性航空教室などのイベントに参加しています。

また、当協会独自の取り組みとしてエアライン委員会が行う Yes I Can 航空教室、GA 委員会によるスカイスクエアへの参加や各支部主催の会員以外も含めた行事など会員の活動により進められています。今年の夏前を目指して協会内の FTD の更新も進めていますが、FTD を使用しての裾野拡大事業も従来にも増して推進していくことが必要だと考えています。

各種のイベントや FTD 活用も実行の主体は会員です。操縦士の勤務状況も年々厳しさを増してきています。一人でも多くの会員の協会活動への参加が事業を盛り上げるとともに個々の会員の負担を低減することにつながります。会員各位の積極的な参加をお願いします。関心のある方は是非協会までご連絡いただければと思います。よろしくお願いします。

最後に、一大イベントである東京オリンピック・パラリンピックが開催される令和 2 年の航空が安全で穏やかな一年になることを祈念して、本年最初のご挨拶とさせていただきます。本年もよろしくお願いいたします。

★—————

[2] 【航空局】 小型航空機等に係る安全推進委員会より

★—————

12 月 12 日（木）、国土交通省にて第 7 回の委員会が開催されましたので、議事概要含めお知らせします。

- (1)小型航空機等による航空事故等の発生状況とその対応
- (2)小型航空機等の安全性向上に向けた取組状況及び今後の方向性

航空局 HP : http://www.mlit.go.jp/koku/koku_tk10_000050.html

★—————

[3] 【航空局】 AIView のトライアル開始について

★—————

12 月 5 日から AIView のオンラインビューアーのトライアルが始まっております。

サイトの使い勝手他、ご意見等は以下サイト内の「AISC ヘルプデスク」へご連絡ください。

尚、当件は 11 月に全国 7 か所で行われた航空局主催の安全運航セミナーにてご案内済および一部の方へはメールにて連絡されている内容ですが、改めてお知らせしております。

トライアル期間 : 12 月 5 日～来年 3 月ごろ (正式提供開始は来年 3 月末の予定。)

トライアルサイト : AIS JAPAN 内「AView」(Aeronautical Information Viewer)

<https://aisjapan.mlit.go.jp/Login.do>

★—————

[4] 【航空局】小型機運航者の皆様へ (第 27 号 : 令和 2 年 1 月)

★—————

航空局より、自家用機を含む小型航空機の更なる安全性の向上に向けた取り組み情報が配信されております。

既に航空局へメールアドレスを登録されている方へは重複することとなりますが、直接的な安全啓発や情報発信の機能強化として情報配信されていますので、改めてご連絡いたします。

日々の安全運航の一助となりますようご活用ください。

[2020 年 1 月 7 日]

★パイロットの医薬品の使用に関するリーフレットの発行について

突然ですが、皆様は以下の状況のとき、どれを選択しますか？

状況 : 明日乗務があるが、風邪を引いたみたいで体がだるく少しふらつく。

- ①使って良い薬がわからないので飲まずに、翌日は少しふらつくがそのまま乗務した。
- ②市販の風邪薬 (鎮静作用あり) で症状が改善したので、朝も飲んで乗務した。
- ③指定医に電話して症状を伝え、確認したうえで薬を使用しながら乗務した。

こういった点に注意すれば良いのか、下記 URL からリーフレットを取得し、Q&A を含め今一度ご確認をお願いします。

(リーフレット発行の経緯)

航空局においては、平成 29 年 3 月 5 日に発生した長野県消防防災ヘリ墜落事故に係る事故調査報告書の公表を受け、操縦士が航空身体検査において既往歴や服薬状況を正しく自己申告を行うことや航空身体検査証明の有効期間中であっても基準への適合性が疑われる場合には、業務を中止し指定航空身体検査医等の指示を受けること等の徹底について取組を進めているところです。

今般、その一環として、操縦士の皆様に対して、医薬品を使用する場合にご確認いただきたい内容を取りまとめたリーフレット『パイロットの医薬品の使用について』を作成し、航空身体検査受検時に指定医から配布することとしました。

医薬品使用の基本的な考え方（リーフレットより）

パイロットが治療で医薬品を使用する場合、当該医薬品だけでなく、現有の病態が航空業務に支障を来す（身体検査基準に適合しない）おそれがないことの「確認」が必要です。

また、医薬品の使用及び病態の「確認」は、指定航空身体検査医又は乗員健康管理医（事業者に配置されている場合。）に対して行うことが原則です。

ただし、市販薬（第 3 類）及び外用薬の一部については、パイロット自身がこれらを「確認」すれば、使用可能です。

★航空身体検査証明「自己申告確認書」の提出について

2019 年 7 月のメルマガでもすでにお知らせしておりますが、2019 年 8 月 1 日以降の航空身体検査証明申請時から、「自己申告確認書」の新たな提出が必要となっておりますので、遺漏なきようよろしくお願いします。

また、自己申告確認書で○を付けた「疾患名」の申請書への記入漏れが無いようご注意ください。

繰り返しにはなりますが、航空身体検査の適正な実施には、申請者の既往歴、手術歴、医薬品の使用歴、自覚症状等についての正しい申告が、極めて重要ですので、安全運航のためご理解ご協力を宜しくお願いします。

本件についてご不明な点等ございましたら、運航安全課乗員政策室（医学）（電話 03-5253-8111 内線 50302)までお問い合わせ下さい。

○パイロットの医薬品の使用に関するリーフレット（国土交通省航空局HP）

<https://www.mlit.go.jp/koku/content/001317956.pdf>

○自己申告の徹底に関する周知文書や自己申告確認書の様式他

http://www.mlit.go.jp/koku/15_bf_000743.html

○長野県消防防災ヘリ墜落事故に関する運輸安全委員会意見を受けての取組について

http://www.mlit.go.jp/report/press/kouku10_hh_000128.html

※本メールは12月23日（月）時点で航空局へ電子メールアドレスを登録頂いている操縦士の皆様にお送りしております。

※所属団体等に未登録の操縦士の方がいらっしゃいましたら本メールを適宜展開いただきますとともに、今後も継続して安全情報を配信して参りますので、積極的な電子メールアドレスの登録についてご案内頂けますと幸甚です。お手数おかけしますがご協力方何卒よろしくお願いたします。

※御質問等ございましたら下記あてご連絡いただきますようよろしくお願いいたします。

※本メールに心当たりがない場合は、お手数ですが下記あてご連絡をお願いいたします。

（出展 国土交通省航空局；航空局から小型機運航者の皆様へ（第27号：令和2年1月より）

◇ご案内

航空局では今後の小型航空機などの安全対策を更に推進していくため、電子メール等を活用し、操縦士への直接的な安全啓発や情報発信を強化することを目的として、自家用機運航者の方々を中心に電子メールアドレスの収集を行っています。

未登録の方は是非ご登録ください。

https://www.mlit.go.jp/koku/koku_tk10_000012.html

★—————

[5]【予定】セミナー・イベント

★—————

《第 17 回 小型航空機セーフティセミナー》⇒お申込み受付中！

2020 年 3 月 5 日（木）－6 日（金）＜東京＞御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター
<https://sites.google.com/a/japa.or.jp/small-aircraft-safety/>

※受講には事前のお申込みが必要です。

また欠席される場合は事務局まで事前連絡をお願いします。

《第 3 回 RNAV 講演会》⇒お申込み受付中！

2020 年 3 月 22 日（日）＜東京＞JAPA 会議室
<https://sites.google.com/a/japa.or.jp/rnavlecture/>

※受講には事前のお申込みが必要です。

また欠席される場合は事務局まで事前連絡をお願いします。

《第 5 回 SRM コース》⇒お申込み受付中！

SRM コースは「TEM/CRM 基礎コース」で説明した知識を有する方を対象とします。当セミナーでは「TEM/CRM 基礎」について取り上げませんので、ご了承願います。

2020 年 2 月 21 日（金）＜東京＞JAPA 会議室
<https://sites.google.com/a/japa.or.jp/temcrmgs/>

※受講には事前のお申込みが必要です。

また欠席される場合は事務局まで事前連絡をお願いします。

★-----

[6] 【新発売】 JAPA SHOP よりご案内

★-----

<新発売>

AIM-JAPAN 2020 年 前期版（日本語版）

ご注文については以下 JAPA SHOP からお願いします。

<https://www.japa.or.jp/japa-shop>

★—————

[7]【ご案内】公益社団法人 日本航空機操縦士協会 ご入会について

★—————

JAPA では会員を募集しております。

ご入会いただけますと、AIM-JAPAN の配布の他、団体割引を適用した、JAPA 団体保険（ロスオブライセンス）へのご加入も可能ですので、ぜひご検討ください。

詳細は以下ホームページより、ご覧ください。

皆様のご入会を心よりお待ちしております。

<https://www.japa.or.jp/member>

* * * * *

★次回の配信は 2 月上旬を予定しております★

JAPA メールマガジンの配信先変更方法及び配信停止方法については以下、ご参照の上、お手続きください。

<https://www.japa.or.jp/mail-magazine>

【発行】公益社団法人 日本航空機操縦士協会

電話 03-6809-2902

メール japa@japa.or.jp

ホームページ <https://www.japa.or.jp/>
